

## 令和4年度コミュニティ交通体系に関する意見聴取状況一覧表

聴取時期	地区	意見を聴取した会議等の名称
8月4日	鎮西	自治会長会
8月6日	幸袋	まちづくり協議会 運営委員会
8月10日	鯉田	まちづくり協議会 買物ワゴン検討部会
8月17日	庄内	まちづくり協議会 買物検討チーム
8月	二瀬	自治会長会（書面による意見集約）
9月	飯塚東	まちづくり協議会 理事会（書面による意見集約）
9月	菰田	まちづくり推進協議会 理事会（書面による意見集約）
10月5日	穎田	まちづくり協議会 幹事会
10月20日	穂波	まちづくり協議会 役員会
10月25日	筑穂	自治会長会 公共交通体系整備委員会

分類番号	意見等の内容
①	コミュニティ交通全般に関すること
②	コミュニティバスに関すること
③	予約乗合タクシーに関すること
④	エリアワゴンの運行内容等に関すること
⑤	エリアワゴン等の運賃に関すること
⑥	タクシー料金等への助成に関すること
⑦	民間路線バス（西鉄バス）に関すること

分類	地区	質問・意見の内容
①⑦	幸袋	西鉄との役割分担ということだが、西鉄は利用の少ない路線を廃止してきた過去があり、それを補うのがコミュニティバスでは。西鉄がまた路線を廃止した場合にどう補うのか。
①	二瀬	住民が「利用したくなる」交通機関にすべきでは。利用者からすると乗りたいところで乗って降りたいところで降りる仕組みが便利。
①	二瀬	市が運行する交通機関について、タクシー事業者と調整を要することがあるのか。
①	飯塚東	高齢化により生活構造が大きく変化することにより、地域公共交通は生活に直結する問題となるため、動向を注視している。今回の運行体系案は住民の安心感につながるものと期待している。
①⑤	飯塚東	高齢者の運転免許返納、路線バスの減便・廃止など、生活様式や環境が変化する中、市による交通施策は一層求められていくと思う。一方で、受益者負担も当然のことと考える。
①	飯塚東	市が補完する交通手段は、利用価値を第一に考えるべきである。現状は、西鉄バスとの競合等に配慮しすぎていると思う。
①	菰田	高齢者にとっては切実な問題だと思う。ただし、（コミュニティ交通は）利用者が少ないという問題もあると思うので、無駄な事業にならないよう検討してほしい。
①	菰田	JRの駅や飯塚バスターミナル行きの利便性を高めるようなルートを設定することが必要ではないか。（地区外、市外への移動を想定して）

分類	地区	質問・意見の内容
②	飯塚東	コミュニティバス庄内・飯塚線の必要性を見直すということだが、飯塚東地区内のバス停2か所については近くに西鉄バスのバス停があるわけではなく、「路線の重複」には該当しないのではないか。
③	飯塚東	予約乗合タクシーは運行範囲が限定されているため利用価値が少ない。
③	筑穂	予約乗合タクシーの運行範囲を中心市街地まで拡大してほしい。

分類	地区	質問・意見の内容
④	穎田	現在の買物ワゴン形式の運行日数をもう一日増やすということなので、運行希望曜日に関するアンケート調査を実施してはどうか。
④	穎田	現在の買物ワゴンの利用状況に基づき、利用の見込めない停留所を削って効率化を図ってはどうか。一方で、新たな停留所設置を検討することもあれば良いのでは。
④	鯉田	現在の買物ワゴンを有料とすれば、運行車両の台数は増やせるのか。
④	鯉田	現在の買物ワゴンは午後に運行していないので、午後の便を増やすことは可能か。
④	鯉田	令和4年度に向けて、現在の買物ワゴン停留所の再選定が必要か。
④	鯉田	買物ワゴンの事務手続関係が来年度から変わるのか。
④	鎮西	県営花瀬団地は、西鉄バスの便数が少なくなっている。高齢者、買物難民が多い。 宝満宮～黒萩間を団地の中を経由するルートにできないか。
④	飯塚東	現在の路線ワゴンについて、午前9時台の便があれば利用しやすいという意見がある。
④	飯塚東	同じく路線ワゴンについて、現在は上の谷が終点になっているが、新飯塚駅や市役所まで延伸してほしい。
④	飯塚東	地区内定時定路線型運行について、ルートを飯塚市役所まで延伸できないか。
④	飯塚東	買物ワゴンを開始した際、責任の所在や運行の安全性などは問題だと考えていた。運営は大変だが、せっかく始めたので続けられたら良いと思っていた。
④	庄内	西鉄バスの赤坂橋系統のルート（近畿大学前まで）を午前に運行する計画ということだが、西鉄は同意しているのか。
④	庄内	午後便の開始時刻は、平日と土曜でそろえていただきたい。
④	筑穂	エリアワゴンについて、平日の運行曜日が祝日になった場合も、平日同様に運行してほしい。

分類	地区	質問・意見の内容
⑤	穎田	地区内定時定路線型運行（現在の買物ワゴン）の有料化について、基礎年金で生活している高齢者等の目線で物事を決定してほしい。
⑤	穎田	地区内定時定路線運行について、今まで無料だから利用していた人は、有料になると利用しなくなるのではないか。有料にせざるを得ないなら、例えば月1,000円の乗り放題定期券を発行すれば（できればコミュニティバス・予約乗合タクシーと共通の定期券として）利用者も増えるのでは。
⑤	二瀬	水も福祉も、無料ではない。本当に自分に必要なものに対しては、市民も自ら負担すると思う。
①⑤ 【再掲】	飯塚東	高齢者の運転免許返納、路線バスの減便・廃止など、生活様式や環境が変化する中、市による交通施策は一層求められていくと思う。一方で、受益者負担も当然のことと考える。
⑤	穂波	地区内路線の運賃は有料にすべきと考える。一方、回数券の綴り枚数を増やして利用者の実質負担を軽減することもできるのではないか。
⑤	穂波	現在の買物ワゴンは年金生活の高齢者の利用が多いため、できるだけ無料のままにしてほしい。

分類	地区	質問・意見の内容
⑥	二瀬	新たな交通手段を作るのではなく既存の交通手段を生かす仕組みを作るべきでは。民間バス、タクシー共通の割引券等（月額一定料金までを割引、行先範囲無制限）
⑥	二瀬	バスでは目的地まで時間がかかり、乗換が必要な場合もあるため、タクシーが一番便利。タクシーを活用できる仕組みを作ればよいと思う。例えば、利用者に一定の負担をしてもらったうえで、協賛企業や行政で残りを負担する仕組みを作ってはどうか。
⑥	菰田	事業費は、タクシーの割引料金等に転化したほうがよいのではないか。
⑦	穎田	穎田地区内を運行する西鉄バスに赤字補填をしているのか。
⑦	穎田	西鉄バスは、市の中心部に向かう手段として高校生等にとっても重要な路線。便数を減らしてでもどうにか残してほしい。
⑦	飯塚東	市は西鉄バス路線維持のための補助金を支出しているが、単に赤字を補填するだけでなく、経営の健全化やサービスの向上に結び付くような改善を西鉄バスに対して求めるべきである。
①⑦ 【再掲】	幸袋	西鉄との役割分担ということだが、西鉄は利用の少ない路線を廃止してきた過去があり、それを補うのがコミュニティバスでは。西鉄がまた路線を廃止した場合にどう補うのか。